芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報

• 学籍番号	AF21008
• 氏名	李　聡
• 学部	工学部
• 学科(コース等)	情報通信工学科
• 学年(渡航開始時)	3年後期
• ウェブ等への体験談掲載への同意	☑ 氏名も掲載してよい　☐ 学部・学科まで掲載してよい　☐ 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

• 渡航型/オンライン型	☑ 渡航型　☐ オンライン型
• プログラムタイプ	☑ 授業履修型　☐ 研究室配属型
• 国・地域名	アメリカ
• 都市名	アーバイン
• 留学先大学名	カリフォルニア大学アーバイン校
• 留学期間	☐ 3ヶ月未満　☑ 3ヶ月～半年（1セメスター程度）　☐ 半年～1年（2セメスター程度）
• プログラム期間	プログラム開始時期（2021年9月上旬等）：2023年9月　プログラム終了時期（2021年9月上旬等）：2024年3月
• 留学時期（主に留学をしていた時期にチェックをお願いします）	☐ 1年前期　☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期　☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期　☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期　☐ 修士2年後期 ☐ 3年前期　☐ 博士以上 ☑ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期
• 上記協定校を志願した理由を教えてください。	世界トップクラスの大学群であるUC(カリフォルニア大学)のうちの一つであり、ハイレベルな授業を受講できるため。また、アーバイン市は全米で最も安全な都市と評価され、安全面も考慮した上で志望した。
• (研究室配属型のみご回答ください)受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について

• 休学の有無	☐ 休学をした　☑ 休学しなかった
• 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取り終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	既に卒研着手条件のの単位数以上を取得したため。必修科目について、学科主任へ打診した上で、3年後期の必修科目を4年後期に履修するよう許諾を頂いた。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

本校とは学期制度が異なり、通年で3クォーターがあり、秋渡航ならうちの秋、冬クォーターに当たる。一クォーターで10週間＋期末試験となり、本校よりも学習のペースが早いため注意する必要がある。履修登録について、情報系(CS)または通信系(EECS)の授業は現地の学生にも大人気のため、交換留学生としてはほぼ履修できず、代わりに数学科やオンライン授業(DCE・交換留学部門)の授業を通して自分の専門の授業を履修することができる。DCEよりオリエンテーションやアドバイザーと面談できる機会を設けられるが、渡航前に履修登録についてDCEより案内されるが、履修許可は各学部より下し、またその工程は非常にブラックボックス化されているため、希望通りに授業を履修することはほぼ不可能である。1クォーターに付き最大12単位(3～4科目)を取得することができる。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	INTRO PROG DATA SCI (MATH 10)	単位数（現地単位数）	4
科目概要	数学科の授業で、主にPythonを用いた初歩的なデータサイエンス・プログラミングについて学ぶ。		
科目名②	BASIC ECONOMICS I (ECON 20A)	単位数（現地単位数）	4
科目概要	ミクロ経済学の基礎について学ぶ授業である。市場や需給関係、資源の分配などがメインとなる。		
科目名③	FIXED INCOME (MATH 134A)	単位数（現地単位数）	4
科目概要	利子理論やキャッシュフローについて学び、数学を用いてローン・債券の計算をする授業である。非常に専門性が高く、経済・金融のバックグラウンドを求められるため履修をオススメしない。		
科目名④	GLOBAL ECONOMY (ECON 13)	単位数（現地単位数）	4
科目概要	ECON20Aと同じく、経済の基本について学ぶが、ミクロ経済学のみならず、経済学の全体的なファンダメンタルを学ぶことができる。授業形態はオンデマンドであり、試験はオンラインで受けることになる。		
科目名⑤		単位数（現地単位数）	
科目概要			
科目名⑥		単位数（現地単位数）	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動	
• 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。	近年の国際情勢より、アジア人がアメリカにて攻撃を受けることが多発しているが、UCIは約三分の一の学生がアジア系であるように、非常に多様性を重視している大学であるため、差別・ヘイトクライムを受ける心配する必要はない。また、街自体の治安も非常に評価されているため比較的に安全に過ごすとことができる。

自由記述欄	
• 留学で感じたこと等、自由に記載してください。 （当初の留学計画を達成でいたか、新た発見はあったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。）	日本とは違う文化を体験したい、人と違うことをしてみたい、という考えで交換留学の道を選んだ。最初は緊張・不安でいっぱいだったが、シャイな気持ちを捨て、積極的に人と触れ合うようになってからは、そのような思いも自然に無くなっていった。学習面において、希望通りに授業を履修できなかった反面、専門外で興味がある授業について学べたことも良いことであったのではないだろう。娯楽面について、LAまで車でたった30分しかかからず、ディズニーやユニバも近いため留学生活を十分満喫できる。

留学手続き時に苦労した点

• 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）	TOEICの基準さえ満たせば特に苦労することはない。
• ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など） （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	渡航準備は全て自力で成し遂げなければいけなく、最大の難点は部屋探しであった。
• その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。	UCIに興味があればどうぞ気軽に連絡を。

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

• 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）	一般のアパート
• 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）	通常のアパートは１年契約のものしかないため、SNSより又貸しのアパートを個人契約した。
• 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？	John Wayne空港よりUberで約15分
• 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。	電動キックボードで約15分
• 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。	70平米のワンルームを独り占めしていたため住み心地は最高。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額（円換算概算）	概要
協定校へ支払った費用 （授業料、初期登録費用等あれば）	¥2,350,000	授業費等々
往復航空券代（往復）	¥200,000	往復航空券（羽田出発）
海外旅行保険・危機管理費用 （全期間分）	¥100,000	本校より指定した渡航保険
その他費用（ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等）	¥25,000	F1ビザ申請料
計	¥2,675,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥420,000	
食費/月	¥200,000	
その他/月	¥80,000	
計	¥700,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥60,000	
計	¥60,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

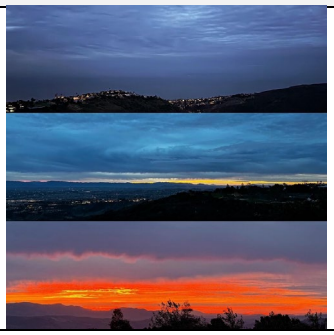
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします

説明文

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします

説明文

その他、任意の写真



説明文

その他、任意の写真

説明文

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。